

公債費負担適正化計画を策定

<http://www.city.saita.lg.jp/ka/soumu-bu/zaisei/zaisei.htm>

市では、公債費(借金返済金)を抑制するために、昨年度に引き続き「公債費負担適正化計画」を策定いたしました。

▼実質公債費比率算定結果

平成19年度決算にもとづき、地方自治体の公債費負担の大きさをはかる指標「実質公債費比率」を算定した結果、本市の比率は県内市の中では一番良くない16・

6%になりました。

このような大きな比率となったのは、下水道や道路・河川整備などの社会基盤整備を推進するため、市が借り入れてきた借金が増加してきたことに加えて、バブル崩壊以後の市税収入の低迷や、地方交付税が大幅に削減され続けてきたことなどによる、一般財源収入の減少が原因となっています。

▼必要最小限の事業

平成26年度までの計画期間中は、市の都合だけで事業進捗を決められない「国・県事業に対する負担金」や、児童生徒の安全確保のため早急な整備が望ましい「学校教育施設耐震補強事業」など、どうしても必要な事業に限って、借入れをおこなうようにします。(左上表)

▼公債費負担適正化計画遂行

平成19年度末時点において、一般会計・公共下水道事業特別会計・農業集落排水事業特別会計の合計で、約187億4000万円の地方債借入残高があります。毎年の返済額は24億円となっていますが、計画の遂行で、平成26年度には、実質公債費比率は10・2%まで減少し、毎年の返済額も17億円にまで圧縮できると予測されます。

問合せ 財政課 ☎(43) 11

1 1 内線 254・FAX(43) 3783



エコライフDAY2008の取組結果



エコライフDAYは、家庭からの二酸化炭素排出量削減を目指して、ライフスタイルの変革のきっかけづくりとして始まりました。

1日版環境家計簿(エコライフDAYチェックシート)を使って、環境のことを考えながら省エネ・省資源の生活を1日体験する取組です。

▼参加者・二酸化炭素削減量がともに過去最高

7月13日(日)に実施した「エコライフDAY」は、多くのみなさんのご協力により、昨年よりも2000人以上多い総勢6751人のご参加をいただきました。その結果、二酸化炭素の排出量を5261kg(前回は3305kg)減らすことができました。

これは、過去3回の取組と比べても、ともに最高の結果となりました。ご協力ありがとうございました。

▼項目ごとの取組状況

各項目ごとの実施率では、上位のものは90%前後、下位のものは30%前後で、前

回から大きく増減したものは見当たりませんでした。

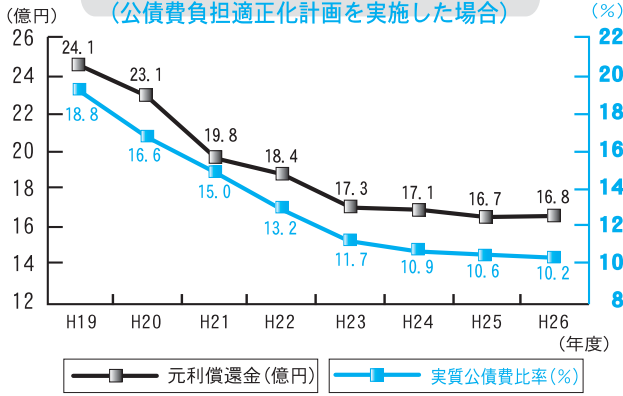
上位には「市町村のゴミ出しルールにしたがって分けた」、「冷蔵庫の扉は、すぐに閉めた」などのように、普段の生活の中でも比較的簡単に取り組める項目が並んでいます。

下位を見ると、こちらにも「レジ袋は、もらわなかった」、「テレビなどの家電製品を使わない時は、主電源を切ったり、プラグを抜いた」のように比較的簡単な項目があります。これらは、その取組によってどれだけの効果があるかを意識すれば、決して難しいものではありません。

▼エコライフの実践を

今回のチェック項目以外にも、エコライフに繋がることあるはず。一人ひとりの効果は小さくても、みなさんで考え、行動に移

元利償還金と実質公債費比率の推移予測(公債費負担適正化計画を実施した場合)



※元利償還金とは、地方債の元金および利息を合わせたお金。

借入れ予定の建設事業

権現堂用水路改修事業負担金、神扇地区湛水防除事業負担金、県道幸手停車場線街路事業負担金(以上、県事業負担金)、圏央道関連事業負担金(国事業負担金)、学校教育施設耐震補強事業、公共下水道事業(事業費を抑制し、借入額を圧縮)

第3回子育て応援まつり

遊&愛(YOU&I)

と き 12月7日(日)午前10時～午後3時
 ところ ウェルス幸手
 参加費 無料(コーナーによっては、材料費がかかります。)

主催 子育て応援まつり実行委員会
 共催 幸手市、幸手市社会福祉協議会
 後援 TMO幸手
 問合せ 幸手子育て支援ねっとわーく
 (市子育て支援課内)
 ☎(42)8454・FAX(42)2130

イベント情報

ショータイム

人形劇、マジック、映写会
 ケーナ・ハーモニカ演奏の
 ライブなど

遊ぼう!!

昔遊び、バルーンアート、フ
 ェイスペイント、親子リズ
 ム体操、子育てサロン、絵本
 コーナー、マジック教室、お
 もちゃ広場、鉄道模型など
 作ろう!!

折り紙、スクラップブッ
 キング、キャンドル作り、
 消しゴムスタンプなど

診てもらおう

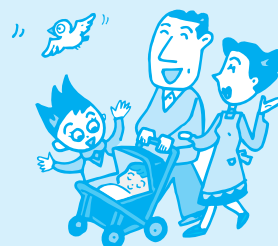
身体測定、育児相談、おも
 ちゃ病院、リフレッシュ
 コーナー、アロマテラピー

そのほかのコーナー

市民環境ネット、くま森
 協会、子ども用品とりか
 えっこなど

※昼食の販売もあります。

子育てを応援しているみなさん
 が協力し、妊婦さん、子どもたち、
 子育て中のお父さん・お母さんが、
 みんなで楽しめるフェスティバル
 を開催します。



体験しよう(要予約)

▼ベビーマッサージ

時間 午前10時～11時

対象 10か月までの赤ちゃん

定員 10人

持ち物 バスタオル

▼マタニティヨーガ

時間 午後1時30分～2時

30分

対象 妊娠16週以降の妊婦

(夫同伴可)

定員 10人

▼親子クッキング

時間 午前10時30分～正午

対象 幼児・児童と保護者

定員 20組(材料自己負担)

持ち物 エプロン、ふきん

▼親子フラダンス

時間 午前1時45分～2時

30分

対象 2歳以上の子どもと

母親

定員 10組

申込み 11月10日(月)午前

9時から子育て支援課へ

今すぐできるエコライフ項目

- ◆冷蔵庫の扉は、すぐ閉める。(6g・1年で130円の節約)
- ◆ほかの用事をするときは、テレビを消す。(42g・1年で840円の節約)
- ◆部屋を出るときは、明かりを消す。(23g・1年で460円の節約)
- ◆冷房の設定温度を1度高く(28度)する。(104g・ひと夏で640円の節約)
- ◆お風呂はさめないうちに、続けて入る。
(72g・1年で1,640円の節約)
- ◆お湯や水を出しっぱなしにしないで、こまめに止める。
(77g・1年で2,650円の節約)
- ◆お風呂の残り湯を洗濯に使う。(16g・1年で3,740円の節約)
- ◆駐車や停車をするときは、アイドリングストップする。
(151g・1年で2,320円の節約)

※()内の数字は1日に減らせる二酸化炭素の量です。

このほかにも、さまざま取組があります。
 みなさんも考えてみてください。

していただければ、必ず地
 球に優しい環境を取り戻す
 ことができるでしょう。
 これからも「エコライフ
 DAY」を継続して実施し
 ていきますので、みなさん
 も毎日のエコライフに取り
 組んでみてください。

※「エコライフDAY」の取
 組結果は、市ホームページ
<http://www.city.satta.lg.jp/>
 でも公表しています。
 問合せ 環境課 ☎(48)03
 31・FAX(48)2226